平成26年度　株式会社村山運輸　運輸安全マネジメント実施計画書

期間H25．9．1～H26．8．31

1　　我が社の輸送の安全に対する基本的な方針

（1）　全従業員に対して、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、その実現のため経営トップが主導的な役割を果たし、全従業員が一丸となって取り組み、絶えず安全性の向上を図る。

（2）　輸送の安全に関する取り組み状況等の情報について積極的に公表する。

（3）　プロドライバーとしての自覚を高め悪質違反（酒酔い運転、酒気帯び運転、過労運転、薬物等使用運転、無免許・無資格運転、過積載運行、最高速度違反、救護義務違反）を絶対させない。

（4）　車両管理システム、ドライブレコーダーを活用し、かつグリーンエコプロジェクトへの参加で環境に優しい安全な省エネ運転を徹底する。

（5）　東京都貨物輸送評価制度に参加する。

2　　目標の設定

（1）	重大人身事故（第一当事者）	ゼロ　（25年度　0件）
（2）	（1）以外の人身事故	ゼロ　（25年度　0件）
（3）	有責物損事故　　対前年度比	50％減　（25年度　3件）

3　　輸送の安全に関する投資額

（1）　車両・動態管理システムの推進

26年度リース料、保守料	￥2，667，300

（2）　教育・研修

管理者研修会、運転者講習会、一般適性診断受診	￥500，000
フォークリフト免許取得	￥ 300，000

４　　目標達成のための計画

（1）　運行管理体制の充実強化

点呼及び指導監督等の運行管理業務を確実に実施できるように運行管理者の勤務体制を確立するとともに適任者を育成し選任する。

（2）　教育及び研修の充実強化

ア　教育・研修については、点呼等の機会を捉えて意思疎通を十分図るとともに、運転者の特性や運行実態、運転者からの安全対策の提案等を踏まえて実施する。特に、ヒヤリハット事例を収集し、始業点呼等での危険性の共有化を図る。

イ　全従業員が一般適性診断を受診し、自分の運転適性を把握するとともに、管理者による個別指導を行う。

ウ　運転者講習会に積極的に参加し、安全運転の意識高揚を図る。

（3）　ドライバーミーティングの活用

月に一回以上ドライバーミーティングを開催し、一ヵ月間に起きた事故、誤卸し、交通違反、労災事故、ヒヤリハット事例を分析し、事故防止にタイムリーに取り組み、全社的な情報の共有化を図る。

（4）　車両・動態管理システム及びドライブレコーダーの活用

車両・動態管理システムにより速度の厳守、急発進、急停止の抑制による事故防止、及び地球温暖化防止のための省エネ運転を全従業員が実施する。

（5）　アルコールチェッカーの活用

点呼時にアルコールチェッカーを義務付け、飲酒運転撲滅を図る。

（6）　表彰制度の活用

平成26年度各種表彰制度（警視庁、全ト協、東ト協、関東交通共済等）に参加する。

（7）　各種認証制度

ア貨物自動車運送事業安全性評価事業所（Ｇマーク）の更新をする。

イ東京都貨物輸送評価制度に参加　３つ星を目指す

５　自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計（平成２５年度）

総件数　　０ 件

６　輸送の安全に係る処分（輸送の安全確保命令、事業改善命令、自動車その他の輸送施設の使用停止処分、事業停止処分）

なし

７　輸送の安全に関する内部監査及び、業務の改善等

（1）　実施日　　年間1～2回

（2）　監査員　　取締役をはじめ部所長

（3）　監査内容　１．運輸安全マネジメントの運営状況　２．目標の達成度　３．計画の進捗状況

（4）　業務の改善等

内部監査のチェックを踏まえ、輸送の安全確保の為に必要な方策を検討する。尚、その詳細については幹部会にて検討を、改善報告書を作成後、各部署との協議のうえ、是正措置、又は予防措置を講じる事とする。

８　平成２５年度に実施した主な内容

（1）　教育・研修

ア　運行管理者等指導講習にのべ25名が参加し、運行管理の実務や関係法令、安全の確保に必要な管理手法を講習した。

イ　フォークリフトに関する運転講習に50名が参加し、危険な運転等の講義を受けた。

（2）　事故防止への取組

ア　動態管理システムおよびドライブレコーダーを活用し、安全運行、省エネ運転に努めた。評価表に基づく個別指導を実施するとともに、安全・省エネ運行優良運転者表彰を12月に実施した。

イ　飲酒運転撲滅を図るため、対面点呼でのアルコールチェッカーによるチェックを厳正に実施している。